

国立大学法人信州大学様の場合

2000人以上を誘導する新入生ガイダンスで 職員の負担を軽減するために 音声案内機を導入



お話を伺った方：信州大学学務部学務課共通教育支援室 青木克義さん

商品紹介動画



導入機種：SG-SV20M

長野県内各地にキャンパスが分散している国立大学法人信州大学では、毎年行われる入学試験や新入生ガイダンスなどを開催する際、禁止されている持ち物などの注意アナウンス項目は多く、これをすべて手で案内してきました。さらに今年はコロナ対策のための呼びかけも必要となり、案内項目はさらに増えていました。そのため同大学では、マックスの自動音声案内機を導入して人員の負担軽減と省力化をはかったそうです。そこで今回は、同大学で新入生ガイダンスを担当する共通教育支援室の青木克義さんに、共通教育支援室における導入のきっかけや、どのように音声案内機を活用されたのかについてお話を伺いました。

マックスの音声案内機を導入されたきっかけをお教え下さい。



青木さん 私の所属する共通教育支援室では1年次に履修する共通教育科目実施の支援を担当しています。中でも大きなイベントとして毎年、4月当初に新入生ガイダンスを計画・実施していますが、

今年は新型コロナウイルスの感染症対策のために、大規模な実施が困難な状況となりました。全体で2000人を超える新入生が参加するのですが、これを細分化し、1日に3回、10会場で行うことで密を避け、手指の消毒などの対策を徹底することにしました。そのため、例年以上に誘導員を配置しなければならず、誘導時の業務内容も通常業務に加えて新型コロナウイルス関連の事項が増えました。しかし、4月当初は他部署も繁忙期であり、人員確保も容易ではありません。そこで少しでも業務負担を軽減するため、手指消毒やソーシャルディスタンス等の注意事項をアナウンスすることだけでも自動化できないかと考え、支援室においてもこの製品を購入、使用しました。

マックスさんの製品に決定したのは、既に他の部署で使用してみて、その評価が良かったからだと聞いています。

具体的にはどこに使用され、どのような音声をアナウンスされましたか？

青木さん なるべく人員が足りなくなりそうな会場を選び、屋外の広いところで使うほうが効率がいいと考え、3箇所に設置しました。実際に録音したのは「手指消毒を行ってから入室してください。前の人と間隔を開けて、自分の氏名の列に並んでください」という内容です。

使い勝手はいかがでしたか？

青木さん 他の職員が録音したのですが、とても簡単な操作で録音できたようです。実際に使ってみて、コンパクトで場所をとりませんし、とにかく人手をかけずに使えるのがいいですね。もちろん、屋外に椅子を持ち出してそこに設置するなどの一手間はありましたが、置いてしまえば無人でアナウンスできますので、本当に便利でした。おかげさまで問題なく開催することができましたので、今後は来年度のガイダンスはもちろん、その他のイベントでも使用することを考えています。コロナが収束したあとも、しばらくは手指消毒やソーシャルディスタンスは必要とされると思いますので、マックスさんの音声案内機を使う機会をもっと増えるのではないかと思います。



信州大学での導入のきっかけ

最初に信州大学で本製品が導入されたのは、試験会場での使用検討のために行った、2020年12月の商品デモがきっかけです。

具体的には、注意事項や案内事項を入試会場でアナウンスさせスムーズに運営できるかの検討がおこなわれました。今回は新型コロナ対策でソーシャルディスタンスやマスク

着用の徹底もさせたいので、音声案内機を導入して自動化することで人員の負担を軽減できるかについて確認をおこない、「効果あり」として導入を決定されました。その後、一般の大学入学共通テスト会場入口で使用して高評価だったため、共通教育支援室にも追加導入されたという経緯があります。 (マックス スタッフ)

導入先

国立大学法人信州大学
所在地：長野県 公式 HP：<https://www.shinshu-u.ac.jp>